

令和6年4月12日発行

発行：おかやま酪農業協同組合

責任者：小椋 孝史

津山市川崎94-1

☎(0868)26-1101

令和5年度

「牛乳大好き！絵画コンクール」受賞作品



最優秀賞 県知事賞 岡山市立芳泉小学校6年 川崎 珠暖
(絵の説明)

毎日学校に出てくる牛乳が好きだから、この絵を描こうと思いました。毎日牛乳が飲めてうれいす。

第8回 おかやまブラック&ホワイトショウ開催

3月16日、おかやまホルスタイン改良同志会(会長 山本真五)主催による「第8回おかやまブラック&ホワイトショウ」が全農岡山県本部総合家畜市場で開催されました。後代検定の部を含む未經産の部(6部制)に23頭、経産牛の部(5部制)に23頭の愛牛が出品されました。審査員にはオールジャパンブリーダーズサービス(株)九州出張所営業部営業課係長 釘田貴博氏をお招きし、出品牛46頭の審査を的確に行っていたいただきました。

グランドチャンピオンには真庭市の(有)長恒牧場の愛牛「ロンゲスト マダム KD ゴードン」号、リザーブグランドチャンピオンには津山市の吉原直樹さんの愛牛「グランデール ドクター ギンギラギン ET」号が選ばれました。その他の結果については下表のとおりです。

また、今回はジュニアショウも行われ、16名の参加で審査会場がいっぱいとなり、一人ひとりが真剣なまなざしで釘田審査員の指導に耳を傾けていました。審査の結果、優秀賞には河村博文さん(中国四国酪農大学生校)、吉田漣さん(岡山県立高松農業高等学校)、長恒大輔君(長恒泰裕さんご子息)が選ばれました。最後に公私ともにお忙しい中、ご来場いただいた関係者各位に心からお礼申し上げます。

(生産支援課)

第8回おかやまブラック&ホワイトショウ成績(各部首席)

部	成績	名	号	生年月日	住所	氏名
未經産の部	後代検部	チャンピオン	スタンドリッチ スピリッツ エアロスター	R05.04.19	真庭市	立田豊常
	1部	チャンピオン	タカノウ HJ センチュリー エイプリル	R05.04.01	岡山市	岡山県立高松農業高等学校
		リザーブチャンピオン	サイプレス ファニーア マウイ マルダ	R05.04.09	勝央町	(有)檜尾牧場
	2部	チャンピオン	カヤベ セイエラ デンバー アエル	R05.03.07	真庭市	(公財)中国四国酪農大学生校
		リザーブチャンピオン	タカノウ サマーフェスト グレイス シュンチヤン	R05.02.16	岡山市	岡山県立高松農業高等学校
	3部	チャンピオン ジュニアチャンピオン	スカイフオール ラスター シヤワー	R04.10.28	高梁市	藤原完治
		リザーブチャンピオン	タカノウ フアントム ビーナス スナビ	R04.12.09	岡山市	岡山県立高松農業高等学校
	4部	チャンピオン	カヤベ セイエラ デンバー アトラス	R04.09.09	真庭市	(公財)中国四国酪農大学生校
		リザーブチャンピオン	ミヒラ エクセルランド ラスター	R04.08.27	真庭市	筒井省悟
	5部	チャンピオン	TK スター ヒンペル アイニツシユ パンダ	R04.05.10	津山市	辻賀裕
経産の部	6部	チャンピオン	ヒールクレスト フューエル スノー	R04.01.18	岡山市	妹尾優佳
		リザーブチャンピオン	カヤベ セイエラ ベイリー ケイト	R03.12.14	真庭市	(公財)中国四国酪農大学生校
	7部	チャンピオン	カヤベ セイエラ デルタラムダ エマ	R03.08.28	真庭市	(公財)中国四国酪農大学生校
		リザーブチャンピオン	ロンゲスト ユリアナ サイドキツク チャクラ	R03.09.10	真庭市	(有)長恒牧場
8部	チャンピオン リザーブ・グランドチャンピオン インターメディアイトチャンピオン	グランデール ドクター ギンギラギン ET	R02.11.19	津山市	吉原直樹	
	リザーブチャンピオン	ロンゲスト ラマニア サイドキツク ルル	R02.09.21	真庭市	(有)長恒牧場	
9部	チャンピオン グランドチャンピオン シニアチャンピオン	ロンゲスト マダム KD ゴードン	H31.04.24	真庭市	(有)長恒牧場	
	リザーブチャンピオン	ヒールクレスト マウイ プチコ フタゴ	R01.09.04	岡山市	妹尾優佳	
10部	チャンピオン	ヒールクレスト ジョイジョイ アスカ フタゴ	H30.04.10	岡山市	妹尾優佳	
	リザーブチャンピオン	グランデール ナットウマキ	H30.05.09	津山市	吉原直樹	

未 経 産 の 部



後代検定の部 チャンピオン
真庭市 立田 豊常 所有



1部 チャンピオン
岡山市 岡山県立高松農業高等学校 所有



2部 チャンピオン
真庭市 (公財) 中国四国酪農大学校 所有



3部 チャンピオン
ジュニアチャンピオン
高梁市 藤原 完治 所有



4部 チャンピオン
真庭市 (公財) 中国四国酪農大学校 所有



5部 チャンピオン
津山市 辻 賀裕 所有

経産の部



6部 チャンピオン
岡山市 妹尾 優佳 所有



7部 チャンピオン
真庭市 (公財) 中国四国酪農大学校 所有



8部 チャンピオン
リザーブ・グランドチャンピオン
インターミディエイトチャンピオン
津山市 吉原 直樹 所有



9部 チャンピオン
グランドチャンピオン
シニアチャンピオン
真庭市 (有)長恒牧場 所有



10部 チャンピオン
岡山市 妹尾 優佳 所有



グランドチャンピオン決定



ジュニアショウ優秀賞

第19回おからく青年部・女性部酪農発表大会

3月5日、「第19回おからく青年部・女性部酪農発表大会」が開催されました。今回はコロナが明けたこともあり、青年部・女性部合わせて約80名の参加者でした。来賓には、岡山県農林水産部畜産課 池田総括参事様、二部野様、(一社)岡山県畜産協会会長 柴田様、全酪連大阪支所指導組織課課長代理 大竹様、全酪連 中四国事務所所長 瀧本様にお越しいただきました。

経営発表の部 『生きるバイブル』

〜ヘルパーからの第三者継承〜
美作青年部 筒井 省悟

蒜山の酪農家の次男として生まれ、物心ついた時から両親の手伝い



発表者：筒井省悟さん

を通じて酪農に携わってきました。そして、中国四国酪農大学校を卒業後、20歳で酪農専任ヘルパーの正職員として就業しました。ここで専門的な業務に従事しながら実践経験を積み、24歳の時に酪農ヘルパーの臨時職員へ転身しました。

臨時職員時代は、朝晩はヘルパーとして働き、日中の空いた時間を活用し、春から秋にかけてはJAで米の育苗・収穫などを行い、冬はスキー場でアルバイトに従事しました。振り返って見ると農業や観光業に携わること、これまでとは違った視点で酪農を見ることにより新しい気付きを得ることができた貴重な時間でした。

大きな転機が訪れたのは42歳の時です。近所で酪農を営まれてきた方から、牧場を引き継がないかと第三者継承の提案を受けました。これまでの経験から酪農経営の難しさはある程度理解しているため、かなり悩みました。私たち夫婦の生活はさておき、息子たちの学費を稼ぐため、なにより今後、蒜山地域の酪農が発展していくためには、第三者継承は必要なものだと考えました。最後は妻の後押しもあり就農を決意しました。

継承後、初めに行った作業は牧場設備の更新です。カウコンフォート向上のため牛床マットの張替、換気扇の増大、ウォーターカップの取り付けなどを行いました。こうした作業についてはコスト削減のため、可能な限り自らの手で行いました。

また、牛の健康状態などを積極的に記録して見える化するのと搾乳作業における前拭き・前搾り・ミルク装着をすべて自分で行っていることが疾病の早期発見・早期治療につながり、さらに繁殖成績向上と乳質向上にもつながりました。

最後に、少子高齢化が顕著な蒜山高原の酪農を維持していくためには、第三者継承は不可欠なものだと思います。いつの日か、私に続く未来の酪農家が現れた時、私の時よりも少しでもスムーズに継承できるように、成功も失敗も包み隠さず見える化し、「記憶」よりも「記録」を大切にしていきます。

今後も大切な家族のため、大好きな牛たちと真剣に向き合い、悩み、苦しみ、そして誰よりも楽しみながら新しいバイブルを築いていきたいです。と発表されました。

筒井さんは、4月11日に広島県安芸高田市「安芸グランドホテル」で

開催される第53回西日本大会に、出場されます。多数の応援をよろしく
お願い申し上げます。
(生産支援課)



令和5年度堆肥舎等長寿命化推進事業(資材代のみ1/2以内助成) 実証事例のご紹介

さて、本事業は経年劣化した堆肥舎等に対し、地域の実情に応じて部分的な補修の実証の取り組みを支援し、地域全体で堆肥舎等の長寿命化を推進することを目的として措置されました。令和5年度は5戸（6施設）で実証を行いましたので、下記にて補修の実証事例を紹介させていただきます。

補修方法及び事業内容等についてご質問等あれば、総務部経営支援課（☎0868-26-1101）までご連絡ください。

施設① 堆肥乾燥舎 攪拌機走行レール補修

・施設面積：595㎡ ・事業費（税抜）：806,120円（内補助金額403,060円）



施設② 堆肥舎 屋根補修

・施設面積：160㎡ ・事業費（税抜）：396,800円（内補助金額198,400円）



施設③ 堆肥乾燥舎 屋根補修（下地鉄骨を木材で補修、屋根材の部分的な交換）

・施設面積：1,241㎡ ・事業費（税抜）：991,547円（内補助金額495,773円）



施設④ 堆肥舎 壁補修

・施設面積：280㎡ ・事業費（税抜）：133,100円（内補助金額66,550円）



施設⑤ 堆肥乾燥舎 パイプ資材の部分的交換

・施設面積：385㎡ ・事業費（税抜）：1,744,000円（内補助金額872,000円）



施設⑥ 堆肥乾燥舎 屋根補修

・施設面積：350㎡ ・事業費（税抜）：684,800円（内補助金額342,400円）



農家のニーズに応える畜産研究所を目指して

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

令和6年度、畜産研究所で行っている研究課題のうち、重点的に取り組んでいる課題を紹介します。

○イネWCS給与による乳用牛の育成

輸入飼料の価格が高止まっていますが、イネWCSは需要が高まっている国産飼料の一つです。乳牛では泌乳牛、乾乳牛への給与が中心で、育成牛にはあまり給与されていません。その理由として「過肥になるのでは？」「繁殖成績が悪くなるのでは？」という懸念があるようです。そこで当研究所では、8〜15ヶ月齢の育成牛に茎葉型のイネWCSを給与し、育成牛の発育や繁殖についての研究をします。また、現地実証も行い、地域での取り組みを広げたいきます。(写真1)

○「もっとおいしい」岡山和牛づくり

和牛肉の最大の特徴といえば霜降り(脂肪交雑)です。霜降りの量を示す枝肉の格付基準としてBMSが用いられていますが、これまで当所ではBMSだけでなく、脂肪の質(脂肪酸)や脂肪交雑の形(細かさ)といった霜降りの質についての研究を進め、格付評価には表れないおいしさを求めてきました。一方、近年

の研究で牛肉の旨味やコク、柔らかさに関係する遺伝子が見つかったおり、赤身については、この遺伝子型を調べることでおいしさを予測できるようになっています。

これらの遺伝子型の調査を進め、これまで進めてきた霜降りの質の向上と合わせて、赤身部分のおいしさも追求した「もっとおいしい」岡山和牛づくりに取り組んでいきます。(写真2)

○畜産からの温室効果ガス排出削減

最後に紹介するのは、地球温暖化の原因となっている温室効果ガス(GHG)をテーマにした研究です。畜産業から発生するGHGは牛のあいき(暖気)に含まれるメタン、堆肥化時に発生する一酸化二窒素(N₂O)が知られており、農業生産分野では全体の約3割を占めていると言われています。現在、これらの発生を削減する研究が全国的に広がっており、当所でも全国の研究機関と共同で取り組んでいます。

あいきに含まれるメタンについては、搾乳ロボットで一頭ずつ測定し、遺伝的にメタン発生が少ない牛づくりを進めることで削減を図ります。また、メタン削減が可能な飼料

添加材の探索にも取り組みます。堆肥化では、N₂Oの発生が多い箇所との探索と微生物添加による削減方法の研究を行っています。



写真1 WCS用イネ



写真2 脂肪酸の測定



新たな乳成分！BHB、FFAについて

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 伊藤 舞優

はじめに

いつもお世話になっております。全酪連の伊藤舞優です。桜の花のたよりが聞かれる頃になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

入会してからの1年間、牛乳は“乳量”だけでなく“乳成分”によっても乳価が変わり、良質な牛乳を搾るためにさまざまな努力をされていることを学びました。今回は、乳成分のなかでも、2020年より情報公開された「BHB」および「FFA」について少しお話させていただきます。BHBやFFAは生乳の風味指標となるだけでなく、牛の健康状態や栄養バランスの指標ともなりますので、最後までお読みいただけますと幸いです。

①BHB（β-ヒドロキシ酪酸）について

BHBとはケトン体の一種で、乳汁中0.1mmol/L以上の場合に「潜在性」ケトーシスが疑われます。ケトン体とは脂肪が代謝されるときに生成される物質で、栄養不足を判断する指標、特に産褥期の飼料バランスの指標となります（図1）。

分娩後の牛は、泌乳量増加に対する採食量が伴わず栄養不足に陥ると、蓄えられた体脂肪からエネルギーを取り出そうとします。体脂肪から動員された中性脂肪は遊離脂肪酸（NEFA）となり、血液を通して肝臓に運ばれます。その後、肝臓でブドウ糖と一緒に代謝されてエネルギーが取り出されますが、乾物摂取量が低い牛の場合、肝臓に運ばれる脂肪が増加する一方でブドウ糖不足となり、代謝が不完全燃焼を起こします。不完全な多量の脂肪の代謝は「ケトン体」を多く生成し、牛体から発散されたり、牛乳に移行したりします。この乳中に移行した乳中ケトン体のうちの 하나가「BHB」です。

ケトン体が極端に増えた場合を「ケトーシス」と呼び、乾物摂取量の低下による乳量の減少や第四胃変位や乳房炎、繁殖障害などを誘発することもあります。乳量の減少や食滞などは「臨床性」ケトーシス（BHBが0.13mmol/L以上）の症状で、BHBの量をモニタリングすることで、症状が出ていない「潜在性」ケトーシスに気づくことができます。また、ケトーシスの症状が進んだ個体からは、呼吸や牛体から果物が発酵したようなケトン臭を発するため、治療が必要な場合があります。

ケトーシスが疑われた場合の対策としては以下のようなものがあります。

1. サイレージにおいてケトーシスを誘発する酪酸発酵をさせない
2. 分娩後の体脂肪動員を防ぐため、乾乳期のBCSを3.5以上の過肥にさせない
3. 分娩3週間前からルーメン環境を整え、分娩後の食い込みを改善し、乾物摂取量を低下させない

②FFAについて

FFAとは遊離脂肪酸（Free Fatty Acid）の略です。乳脂肪を含む中性脂肪は、1つのグリセリンと3つの脂肪酸から構成されており、分解酵素（リパーゼ）によって脂肪酸が分解されたものをFFAといいます（図2）。

乳脂肪の分解が進みFFAが増えるにつれて、風味異常の原因となるランシッド臭が発生することがあります。100gの脂肪中（100g Fat）に2.0mM（2.0mmol/L）以上でランシッド臭が発生する可能性があり、FFAは生乳の風味不良の指標となります。

FFAの増加およびランシッド臭の発生要因として、搾乳機器による影響と飼料給与による影響の両面が考え

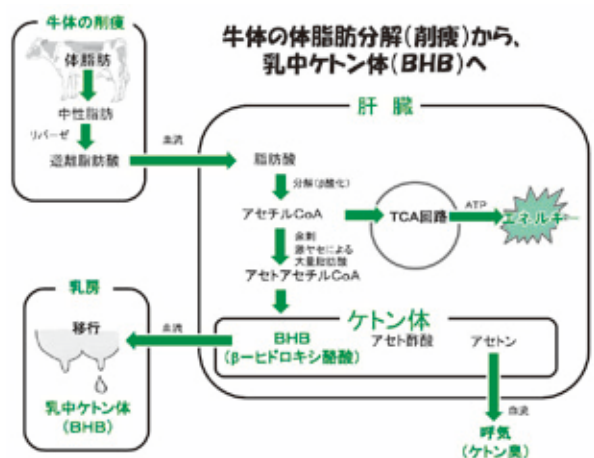


図1 体脂肪からBHBまでのメカニズム（引用：LIAJ News No.183）

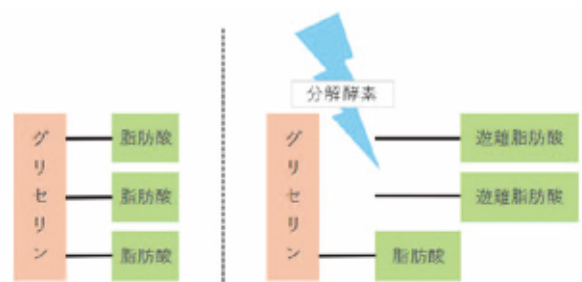


図2 通常の脂肪酸と遊離脂肪酸

られます。まず、物理的な衝撃によって脂肪球膜が破壊されると、分解酵素の作用を受けやすくなり、脂肪分解が進みます。そのため、過度な攪拌や凍結、生乳の泡立ちを防ぐことでランシッド臭の発生抑制となります。一方で、濃厚飼料比率の増加や、暑熱での削瘦もランシッド臭に関与するといわれており、飼料給与による影響を防ぐためには、以下のように、さらに細かく脂肪酸組成を見ていく必要があります。

乳脂肪は大きく3つの脂肪酸に分けることができ、**デノボ脂肪酸・プレフォーム脂肪酸・ミックス脂肪酸**の3種類です(図3)。デノボ脂肪酸は、主に粗飼料のルーメン発酵によって生成される酢酸を原料として合成される脂肪酸で、乳腺細胞で生合成されます。プレフォーム脂肪酸は、主に濃厚飼料や脂肪酸カルシウムなどのサプリメント、体脂肪から由来される脂肪酸で、乳腺細胞では生合成できません。ミックス脂肪酸は、デノボ脂肪酸とプレフォーム脂肪酸の両方の性質も持ち合わせています。つまり、デノボ脂肪酸の数値で粗飼料の利用性やルーメンの健康状態を、プレフォーム脂肪酸の数値で濃厚飼料の利用性や体脂肪動員などを推定することが可能となります。

特に、夏場にデノボ脂肪酸が急激に低下している場合、暑熱ストレスによる乾物摂取量の減少が考えられます。また分娩直後の個体は、負のエネルギーバランスに陥るため、プレフォーム脂肪酸の割合が高いと、体脂肪動員の可能性があり、さらにBHBも0.13mmol/L以上であればケトーシスに注意が必要です。

おわりに

今回は、乳成分のうちBHBおよびFFAについて簡単にお話しさせていただきました。乳成分から牛のエネルギーバランスを知り、日ごろから餌食いを意識していただくことで、良質な牛乳生産につながると思います。ご不明な点などありましたら全酪連職員へお問い合わせください。最後までお読みいただきありがとうございました。

参考資料

LIAJ News No.183、酪農だよりVol.702、酪農だよりVol.703



脂肪酸	分娩後	
	～60日	61日～
デノボ脂肪酸 DnF (%)	22%以上	28%以上
プレフォーム脂肪酸 PrF (%)	50%以下	40%以下

図3 脂肪酸組成と目安

パイプラインの

接続部パッキンを

交換しましょう!!

ライナーゴムやミルクチューブなどは定期的に交換されますが、パイプラインの接続部のパッキンは交換しない農家が多くいらっしゃいます。

当然ながらパッキンも毎日アルカリ洗剤や酸性洗剤、殺菌剤にさらされながら劣化していき、カビが生えたりもします。

パッキンも消耗品と捉え、定期的な交換をすることが大切です。

おからくでは搾乳周辺機器や洗浄機器等の部品交換に助成を行っています。この際に、思い切ってパイプラインのパッキン交換を実施しましょう!!

助成対象期間は4月～9月となっています。ぜひ活用ください。



新品のパッキン

十数年交換しなかったパッキン

そりゃあ乳房炎にもなるわな
パッキン交換は乳質改善の
第1歩じゃ



(事業本部)

畜舎における適切な消毒方法について(第1弾)

事業本部

家畜が細菌やウイルスなどの病原体に感染すると成長の阻害や死亡の原因になり、特に口蹄疫などの特定伝染病に指定されている病気は感染が短期間(短時間)に広がり被害が大きくなります。さらに、周辺地域の製品や畜産物自体が出荷制限となるなど、影響は計り知れません。このような事態を発生させないためには、畜舎を衛生的に保つための清掃や消毒をどのように実施するかが重要となります。

さまざまな感染症の中でも強い伝染力によって一気に家畜を失う可能性が高い重大な家畜伝染病として口蹄疫、牛海綿状脳症(BSE)、牛疫などがあり、さらに農水省が指定する届出伝染病としてサルモネラ症、牛流行熱等々、ウイルスや細菌による病気は多数存在します。

細菌：自ら複製し増殖する単細胞生物。**【温度・水分・栄養】** 3つの条件が揃うと急激に増加する。細菌の中には消毒耐性を示す芽胞菌と抗酸菌がある。

- 細菌
- 芽胞菌：環境が悪くなると菌体内に被膜を作って芽胞を守り、消毒液・熱・乾燥等に強い抵抗性を持つ 例：ボツリヌス菌・破傷風菌etc
 - 抗酸菌：他の細菌と比べて脂質成分の多い細胞壁で囲まれており、一般的な細菌より抵抗性が高い 例：ヨーネ菌・結核菌etc

ウイルス：DNAやRNAといった遺伝子をたんぱく質の殻で包んだ構造をしている。細菌とは異なり自ら生命活動を行うことができず、動物の細胞を宿主として複製し増殖する。大きさは概ね細菌の1/50程度

- ウイルス
- エンベロープ：遺伝子を中心にしてエンベロープという膜状の構造を有する 例：牛ウイルス性下痢・牛疫etc
 - ノンエンベロープ：エンベロープの代わりにカプシドというたんぱく質の殻を有し、アルコールに対し抵抗性があるためアルコール消毒は効果が期待できない 例：ノロウイルス・アデノウイルスetc

感染する原因：細菌やウイルスは肉眼では確認できないため、どこから侵入してくるのか、どのように広がるのか目視での判断ができません。症状が出て初めてわかることとなります。

- ①人や車両による感染=服や靴、車両に付着し侵入してしまう
- ②野生動物による感染=野鳥・ねずみ・モグラ・イノシシ・たぬき等、多岐にわたる
- ③害虫発生による感染=蚊・ハエ等 サシバエは牛白血病の媒介要因の一つ
- ④飼料の汚染による感染=飼料や原料に病原体が付着していたり保管場所で付着する
- ⑤飲用水汚染による感染=殺菌不十分な井戸水や天然水、水槽の汚れにより感染する
- ⑥ホコリによる感染=ホコリに付着し浮遊することで鼻や口から吸い込み感染する

では牛舎や工具、備品等の消毒方法を考えていきましょう。

☆**蒸気消毒**：消毒器内やスチームクリーナーで100℃以上の蒸気に触れさせる方法や蒸気ボイラーで畜舎内を60℃程度の蒸気で充満させる方法

(熱耐性のある芽胞菌には効果は期待できない)

☆**煮沸消毒**：鍋・釜・煮沸機などに入れてお湯で煮沸する方法 器具・工具等の対象物を完全に浸かるように入れ、80℃程度で10~15分程度煮沸

(熱耐性のある芽胞菌には効果は期待できない)

☆**発酵消毒**：糞尿を堆肥化する過程で生じる熱で消毒する方法 排泄物に消石灰を散布し防水シートで覆う

温度が上昇したら均一になるよう切り返しを行う

適度な含水率（約60%程度）が必要

☆**薬物消毒**：消毒薬を用いて消毒をする方法 細菌やウイルスには個々に特性があるため、どの薬液が有効か選択することが重要

※「病原体」「感染経路」「生体の感受性」3つの条件が揃ったときに家畜は感染する。

感染の条件	具体例	予防・対策
病原体	・感染した家畜 ・保菌している野生動物	・検査、治療 ・野生動物の侵入防止対策
感染経路	・空気感染（エアロゾル感染）⇒空気やホコリ ・接触感染⇒飼料、飲料水、道具、車両 ・その他の感染⇒ハエや蚊などの衛生害虫	・清掃、消毒などの衛生管理 ・人や車両の移動規制 ・防虫対策
生体の感受性	・抵抗力⇒年齢やストレスによる	・畜舎の環境整備 ・予防接種

次号へつづく（次号では消毒方法を解説）

日本酪農政治連盟総会

自民党酪政会との懇親会に参加

3月6日、日本酪農政治連盟は東京で総会を開き、2024年度の運動方針を決めました。また、総会終了後、自民党酪政会との懇親会で地元選出国会議員の方々に地域の酪農情勢を伝えました。岡山県酪政連からは三宅穰次委員長と東山大介副委員長が出席されました。

総会に先立って開かれた中央委員会では、佐藤哲委員長（北海道）から各委員の意見を踏まえ、今後の対策を協議していく考えが示され、各地域から切迫した意見が報告されました。三宅委員長は「夏場の生産コスト抑制に向け乳脂肪取基準を3.3%に引き下げられないか」と要望しました。

通常総会で、佐藤委員長は「切実な現状を訴える各委員の声を中央に挙げ、地域の酪農家が生き残れる道を構築していきたい」と挨拶。2024年度運動方針として、「酪農家戸数減少に対する歯止め」と「担い手の確保」を取り組むべき課題として提示。「生乳需給調整に対する支援」「高騰する酪農生産資材に対する支援継続」「自給飼料増産対策」等を重点施策として掲げました。

任期満了に伴う役員改選では、佐藤哲委員長が退任され、新委員長に木本栄一氏（埼玉）が選任されました。また、本県の三宅穰次委員長が新たに副委員長に就任しました。総会終了後には、中国地区酪農政治連盟

協議会意見交換会、自民党酪政会との懇親会、中国地区酪農政治連盟協議会情報交換会が開かれました。

中国地区酪農政治連盟協議会意見交換会には、農林水産大臣政務官舞立昇治氏を始め、国会議員の赤沢亮正氏（鳥取）、逢沢一郎氏・山下貴司氏・平沼正二郎氏・橋本岳氏・阿部俊子氏・小野田紀美氏（岡山）、平口洋氏・橋本悠平氏・石橋林太郎氏・小島敏文氏（広島）をはじめ加藤勝信氏の秘書の方に参加いただき、意見情報交換を行いました。

自民党酪政会との懇親会では、地元国会議員の方々が会場に駆けつけ、我々に激励のお言葉をいただきました。

また、中国地区酪農政治連盟協議会情報交換会にも、加藤勝信氏・赤沢亮正氏・平口洋氏・橋本悠平氏方に参加いただき、意見交換会では伝えきれなかった意見や地域酪農情勢を報告しました。

本県酪政連では、今後も酪農政治連盟を通じて情勢にあった要請活動を展開してまいります。

最後になりましたが、コロナ禍で激変した酪農情勢の期間に日本酪農政治連盟の委員長として、我々酪農家の要請を迅速に中央に要請していただいた佐藤哲氏に心より感謝を申し上げます。

（岡山県酪政連事務局）

第23回おからく女性部総会開催

3月5日、「第23回おからく女性部総会」が、おからく本所3階大ホールで開催されました。

上程した議案については全て原案通り可決されました。また、今年度は役員改選年で、新委員長に備前地区女性部の安富由美子さんが選任されました。

新たなメンバーで女性パワーを発揮し、活動していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

【新役員】
委員長 安富由美子（備前地区）

3月5日、「第23回おからく青年部総会」がおからく本所2階中会議室で開催されました。

上程した議案については全て可決されました。また、今年度は役員改選年で、新委員長に美作青年部の中村宏之さんが選任されました。

コロナも明けてきてさまざまな活動が活発化しております。青年部におきましても交流を深め、それぞれの酪農経営にとってより良いものになるような活動を展開していこうと思えます。

副委員長 徳山 佳奈（備南地区）

小倉 越子（びほく地区）

福田 祐江（美作地区）

小原 鮎美（備南地区）

上森 叔恵（びほく地区）

丸山都々子（美作地区）

大森かおり（備前地区）

岡田みざわ（備前地区）

大内みゆき（美作地区）

永禮 明美（美作地区）

倉永 恵美（美作地区）

川合 宏子（美作地区）
（生産支援課）

第23回おからく青年部総会開催

【新役員】

委員長 中村 宏之（美作地区）

副委員長 小橋 敏行（備前地区）

上森 亨（びほく地区）

難波 晃大（備南地区）

宮野 晃好（美作地区）

原野 広之（備前地区）

安富 照人（備前地区）

藤本 実（備前地区）

三浦 一敏（美作地区）

國富 大地（美作地区）

小村 拓矢（美作地区）

佐賀 大晃（美作地区）

大江健太郎（美作地区）

岡山県酪農政治連盟

美作支部大会開催

3月26日、「岡山県酪農政治連盟美作支部大会」がおからく本所3階大ホールで開催されました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、今回の大会は通常大会となりました。

来賓には、岡山県議会議員の山本雅彦氏・河野慶治氏・本山紘司氏・清水薫氏の4名の方と国会議員秘書の方、日本酪農政治連盟幹事長 坂本様、おからくより檜尾専務および岡山県酪農政治連盟より三宅委員長

長岡 雄一（美作地区）

若山 進（美作地区）

平野 友博（備南地区）

雲岡 利康（びほく地区）
（生産支援課）

をお迎えし、参加者は美作支部の小村雅紀委員長をはじめ多数の方にご参加いただき、盛大に開催いたしました。

議長に岸本竜樹氏を選出し、議事が進行されました。村岡真一、太田廣岡副委員長が令和5年度の活動報告および令和6年度の活動計画、福田会計責任者による会計報告、収支予算案の説明がそれぞれ行われました。議題については全て賛成多数で可決されました。第2号議案の活動計画の中で、会員より、耕畜連携と国産粗飼料の効率的なマッチングの方法を考えて欲しいとの要望をいただきましたので、美作支部として要請していきます。

今回、美作支部大会開催にあたり、加藤勝信氏をはじめ、たくさんの方から祝電をいただきました。感謝いたしますとともに、お礼を申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

（岡山県酪農政治連盟美作支部）



酪農研修会開催

3月7日・8日の2日間、岡山県畜産課主催による「酪農研修会」が開催されました。

講師を全酪連の技術顧問の永井秀樹氏にお願いし、主に、県とおから



く等関係機関の若手職員を対象に行われました。実際の現場のデータについては(有)デリーファームエミ牧場にご協力をいただきました。

1日目はまず、牧場を訪問し、牛群、牛舎等を観察したうえで、検定成績など各データや農場での注目するポイントとそれを実際にどのような現場で生かしていくかについて勉強しました。

2日目は作東バレンタインホテルにて江見さんご夫妻にもご参加いただき、疑問点等を4班に分かれてワークショップ形式で江見さんから意見伺いながら進めていき、永井先生の総括で終了となりました。

経験・知識の少ない若手の職員に、日頃の業務に生かしてもらおうという主旨の研修会でした。この研修会を今後に役立てていただければと思うと同時に、継続した取り組みの必要性を感じました。

最後に、この研修会を開催するにあたり永井先生をはじめ、全酪連中四国事務所の瀧本所長にご協力をいただきましたこと、また、お忙しいところご夫妻で参加してくださった江見さんにお礼を申し上げたいと思います。

(生産支援課)

ひろば

醍醐桜への誘い

総務部総務経理課 湯浅 達也

岡山県真庭市(旧落合町)にある醍醐桜をご存じでしょうか。私の地元、岡山県真庭市(旧落合町)の山里の小高い丘の上にあり、樹高約18m、枝張りは南北約20m、ヒガンザクラの一種のアズマヒガンという種類に分類されている樹齢は700年とも、1000年とも言われる岡山県天然記念物にも指定されている桜です。

名前の由来は、後醍醐天皇が隠岐へ島流しの途中、この桜を見て賞賛したという伝説から醍醐桜の名がついたとされています。開花時期になると多くの花見客で賑わう醍醐桜ですが、地元でありながらあまり行く機会がなく、子どもの頃親に連れられて行った時は渋滞で醍醐桜の行き帰りが凄く大変だったこともあり、なかなか足が向かいませんでした。

しかし、醍醐桜へ行きやすくなったとの情報を聞いて、久しぶりに醍醐桜を見に行ってみました。渋滞はありましたが、一方通行で思った程時間はかからず、駐車場も増え、トイレも綺麗に整備

されており、非常に快適で感動しました。山里の小高い丘の上にあがり、1本だけそびえ立つ存在感、ゲームの世界に迷い込んだような感覚にさせてくれる醍醐桜に圧倒されました。

醍醐桜を訪れた人から絶賛の言葉を多く聞くと自分のことのように嬉しくなります。わが地元の誇りと思えるようになりました。開花時期には、醍醐桜のライトアップ、醍醐桜が葉桜の時には、桜色のライトアップ等さまざまに取り組みがされています。地元の方が長い年月守り育ててきた醍醐桜を1度訪れてみてはいかかでしょうか。



令和6年4月1日付人事異動

職員名	新	旧
本城 宏史	事業本部 部長 (兼) 事務所統括 (兼) 蒜山事務所長 (兼) 蒜山SP所長	事業本部 部長 (兼) 事務所統括
湯浅 達也	総務部 総務経理課	総務部 総務経理課 (兼) 経営支援課
早水 美樹	総務部 総務経理課	事業本部 購買課
山中 雅美	事業本部 流通課 課長代理	事業本部 生産支援課 課長代理
黒瀬 聖	事業本部 流通課	総務部 総務経理課
兼宗 修平	事業本部 津山事務所 (兼) 購買課	事業本部 購買課
田中 天	事業本部 購買課	事業本部 生乳課 鏡野CS
難波 正憲	事業本部 生乳課 鏡野CS所長	西大寺事務所 所長 (兼) 西大寺SP所長
花本 和希	事業本部 生乳課 鏡野CS	備南事務所
林田 春香	事業本部 生乳課	事業本部 流通課
神野 卓哉	津山事務所 事務所長 (兼) 津山SP所長	津山事務所 事務所長代理
長須 悠樹	津山事務所 事務所長補佐 (兼) 津山SP所長補佐	津山事務所
遠藤 健嗣	津山事務所	事業本部 生産支援課
片岡 純一	蒜山事務所 事務所長補佐 (兼) 蒜山SP所長補佐	蒜山事務所
児玉将竜郎	蒜山事務所	津山事務所
高橋 信介	西大寺事務所 事務所長 (兼) 西大寺SP所長	津山事務所 事務所長 (兼) 津山SP所長
豊浦陽二郎	西大寺事務所 事務所長補佐 (兼) 西大寺SP所長補佐	西大寺事務所
阿部 静香	西大寺事務所	びほく事務所
赤木宏一郎	備南事務所	蒜山事務所
向井扶祐美	備南事務所	西大寺事務所
矢野 敬雄	びほく事務所 事務所長補佐 (兼) 事業本部 生産支援課	事業本部 生産支援課
濱田 高美	びほく事務所	備南事務所
直原 里江	事業本部 生乳課 鏡野CS	事業本部 生乳課
山本 恭子	蒜山事務所 エリアアドバイザー	蒜山事務所 事務所長 (兼) 蒜山SP所長

人事

職員採用 (令和6年4月1日付)

高見 奈々 (事業本部)

生産支援課



これまでの経験を活かし、生産者の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

小鴨 真琴 (津山事務所)



明るく元気に頑張ります。よろしくお願いたします。

坂本 彩花 (総務部 経営支援課)



皆様の力になれるように頑張ります。よろしくお願いたします。

松尾 聡子 (事業本部)

生産支援課



皆様に貢献できるように頑張ります。よろしくお願いたします。

嘱託採用 (令和6年4月1日付)

山本 恭子 (蒜山事務所)

エリアアドバイザー

妹尾 明美 (事業本部 生乳課)

退職 (令和6年3月15日付)

英保 美咲 (津山事務所)

退職 (令和6年3月31日付)

高橋真理子 (事業本部 流通課)

奥山 康恵 (西大寺事務所)

西原 茂和 (事業本部 生乳課)

大久保 萌 (蒜山地区 鏡野CS)

大久保 専任ヘルパー

大変お世話になりました。

なお、大久保さんは同地区の臨時ヘルパーになられます。

理事会報告

3月4日、第282回理事会を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。令和6年2月5日・6日に実施した第3四半期に係る監事監査の結果について各監事より報告があった。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和5年度生乳需給安定化対策について

令和5年度1月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○出資減口の申し込みについて

減資申し込みが1件あり、酪農中止による出資減口の申し込みのため、やむなく承認した。

お礼

このたび、真庭市 入澤 良典様より香典返礼金として、(一財)おからく教育振興会に金一封をご寄付いただきました。事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

○ヨ一ネ病支援対策事業の継続について

ヨ一ネ病支援対策事業の継続について協議し、承認した。

○導入事故互助会掛金改正について

導入事故互助会掛金改正について業務委員会で協議した後、再度協議することとした。

○報告事項

現物監査及び令和5年度決算等の今後の日程について、任期满了に伴う役員改選に係る役員推薦委員の決定について、現況調査の報告について、組合員名簿等の閲覧・謄写に関する裁判の報告について、オカラクミートへの建物等契約更新の回答依頼について、津山事務所の移転について報告した。



編集者のつづき

例年より遅い桜が咲き始める中、今年も、別れと出会いの季節がやってきました。

令和6年3月15日に1名、3月末日に4名の退職者を送り出しました。勤められた期間はそれぞれですが、本当にお疲れさまでした。また、新たな道に進む方には、頑張っで欲しいと願っています。

そして、4月1日、4名の新入職員を迎えました。新しい職員ともども力を合わせ、希望とロマンをもって酪農経営を行う組合員の皆さんをサポートできるよう、業務に励みたいと思います。

(T)

令和6年能登半島地震義援金のご報告とお礼

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

皆様からお寄せいただいた義援金297,803円を中国生乳販連を通じてご寄付させていただきましたことをご報告し、被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



左から英保さん、奥山さん、高橋さん、西原さん

津山事務所・津山SP (津山SPへ移動)

津山事務所長・SP所長
 (獣医師) 神野 卓哉
 津山事務所長・SP所長補佐
 長須 悠樹
 兼宗 修平
 遠藤 健嗣
 小嶋 真琴

ヘルパー

青草 真一 川口 権悟 馬澄 真吾
 高田 碧 倉田 春樹 斎藤 大也

蒜山事務所・蒜山SP

(兼)蒜山事務所長・SP所長
 本城 宏史
 蒜山事務所長・SP所長補佐
 片岡 純一
 小椋 一樹
 児玉将竜郎
 エリアアドバイザー
 (囑託) 山本 恭子

ヘルパー

溝渕 義幸 渡邊 玲音

西大寺事務所・西大寺SP

西大寺事務所長・SP所長
 高橋 信介
 西大寺事務所長・SP所長補佐
 豊浦陽二郎
 阿部 静香
 谷口 綺

ヘルパー

真壁 福元 武田 昭彦

備南事務所

備南事務所長
 池田 直人
 岡本 雅代
 赤木宏一郎
 向井扶祐美
 枝木 優治

ヘルパー

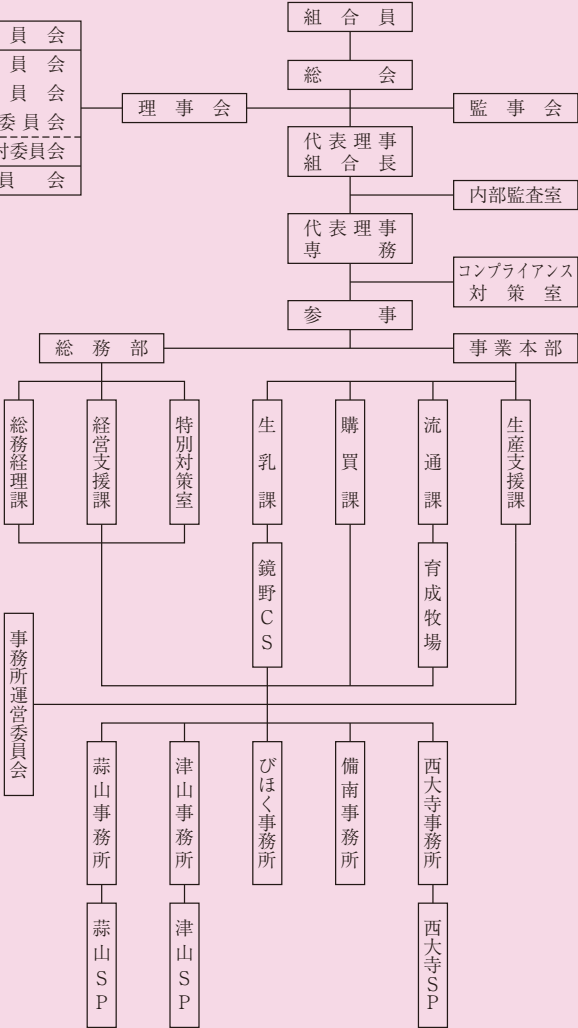
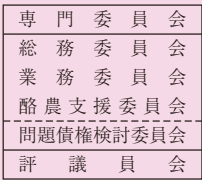
西山 勝之 尾崎 直幸 齊藤 和樹

びほく事務所

びほく事務所長
 延藤久美恵
 びほく事務所長補佐
 (獣医師) 矢野 敬雄
 樋口 晋一
 濱田 高美

ヘルパー

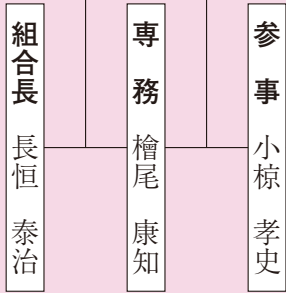
佐久間和歌 廣金 佑太



本所 総務部 (総務経理課・経営支援課)
 ☎ 0868-26-1101 Fax 0868-26-6763
 事業本部 (生産支援課)
 ☎ 0868-26-1106 Fax 0868-26-6994
 事業本部 (流通課)
 ☎ 0868-26-1104 Fax 0868-26-6763

機構図

(令和6年4月1日付)



内部監査室		
室長 (兼)	(嘱託)	高橋 一樹 藤澤 理恵

コンプライアンス対策室		
(兼)室長		小椋 孝史

総務経理課		
課長 (兼)		藤澤 理恵 湯浅 達也 片山 瑛二 小原ももこ 早水 美樹 (嘱託) 中尾由美子

経営支援課		
課長		小島 悟司 片山 瑛二 安藤 大悟 坂本 彩花

特別対策室		
(兼)室長 (兼)		入江 一憲 小島 悟司

総務部付け		
		仲矢ゆかり

生産支援課		
次長 (兼)課長補佐(獣医師)	(獣医師)	清水 正裕 矢野 敬雄 日野 翔太 岡山 真理 松尾 聡子 高見 奈々

流通課		
次長 課長代理		大西 克巳 山中 雅美 奥野 信介 河本 裕介 黒瀬 聖

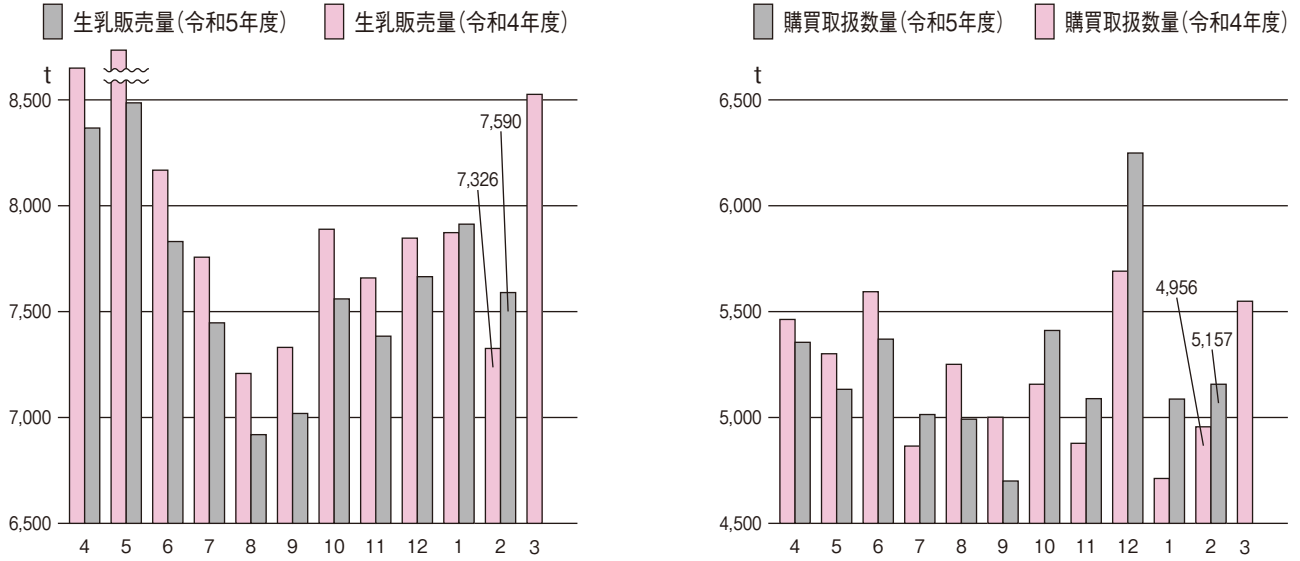
購買課		
課長 課長補佐 (兼)		水島 博子 佐倉 淑乃 兼宗 修平 田中 天

生乳課		
課長 課長補佐		保田 徹 森中 友美 林田 春香 (嘱託) 妹尾 明美

鏡野CS		
CS所長 課長補佐		難波 正憲 森崎 陽子 花本 和希 杉本 祐太 (嘱託) 直原 里江 (臨時) 午道 洋夫

	男	女	計
正職員	31	22	53
嘱託	1	4	5
臨時	1	0	1
小計	33	26	59
ヘルパー	14	1	15
合計	47	27	74

おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用乳製品	その他	
全国	2	553,633	265,548	152,197	135,888	103.5	100.4	107.8	105.1
	4~2	6,229,666	3,137,699	1,525,175	1,566,796	96.2	96.3	93.7	98.4
岡山県	2	7,590	7,066	412	112	103.8	101.6	162.2	105.7
	4~2	84,130	79,651	3,404	1,076	97.4	97.1	103.2	97.4
北海道	2	313,948	53,351	128,986	131,611	104.4	98.6	106.1	105.2



主な行事

- 4月**
- 1日 現物監査
- 7日 第39回中国地区B&Wショウ
- 12日 第1回役員推薦会議
- 20日 蒜山ジャージースプリングショウ
- 22日 管理職会議
- 23日 酪農関係事業推進会議
- 26日 2024セントラルジャパン (~27日)
- 30日 理事会
- 5月**
- 8日 定例監事監査 (~9日)
- 10日 蒜山地区ブロック会議
- 14日 津山地区ブロック会議
- 17日 第2回役員推薦会議
- 20日 備南地区ブロック会議
- 22日 管理職会議
- 24日 西大寺地区ブロック会議
- 29日 理事会

北海道初妊牛価格

3月については、前月に引き続き春産みの出回りが中心で、道内外ともに導入需要が継続したことから、平均価格は税込68万3千円(前月比1万円高)と持ち合いで推移しました。

4月については、春分娩の最終手当需要は底堅いことが見込まれるものの、一部夏産みが出回り始めることから、相場は弱含みで推移することが予想されます。